

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業 説明会 議事要旨

日時 7月20日（土）午前10時から12時まで
会場 武蔵野緑町パークタウン B7号棟集会所
出席者 武蔵野市環境部クリーンセンター 木村参事、三浦係長、馬場
主査、平松主任
日建設計 小平 荏原環境プラント 塚本、今井
参加人数 27名

質問 将来の焼却ごみ量が減る前提で施設の計画をしていますが、大丈夫でしょうか。

回答 焼却炉の処理能力は余力が20%程度あります。現施設は焼却炉が3炉あるのですが、1年のうち半分が2炉、もう半分が1炉運転となっています。新施設においても、1年のうち半分が2炉運転、もう半分が1炉運転とする計画をしており、余力も見込んでいるため、2炉でまかなうことができると考えています。

質問 蒸気を周辺の施設に供給しているようですが工事中、周辺施設への影響はありますか。

回答 現状では蒸気を市役所や体育館などに供給しています。工事中は仮設の管で蒸気を供給し、新施設完成後に本管に接続し直します。そのため、工事中においても蒸気は供給し続けます。なお、現在も1炉運転の時などは周辺施設の蒸気が足りていません。蒸気の供給がなくても、周辺施設は独立して運営できる設備が整っています。電気については、現在は供給していません。新施設完成時から供給します。

質問 予鈴警報と運転管理にダイオキシン類がないのはなぜでしょうか。

回答 塩化水素から一酸化炭素までの5項目については連続測定ができるので、予鈴警報と運転管理の値を設定しています。しかし、ダイオキシン類は分析してから測定値がでてくるまで時間がかかりますので、予鈴警報と運転管理の値はありません。分析した結果によって、停止の判断を行います。なお、測定値については市と事業者でダブルチェックを行います。また、既存施設でも、ダイオキシン類は自主規制値より低い値が出ています。

質問 10月の説明会はどのようなものでしょうか。

回答 11月より用地内施設の解体、樹木の撤去等の準備工事を行いますので、今回より詳しく全体工事の説明を行います。

質問 運転管理値を超えたことはありますか。

回答 既存施設では自主規制値を超えたことはありません。既存施設においても、ダイオキシン類は基準値と比べ低い値となっています。通常のごみの処理を行う上では、値を超えることはないと考えています。

質問 水の使用量、汚水の処理方法はどうなっていますか。

回答 既存施設では排ガスを湿式処理としており、水をたくさん使用しています。基本計画策定委員会で排ガス処理方式（湿式処理と乾式処理）の議論を行いました。その結果、湿式処理は排ガス処理で優れていますが、現在の技術では、乾式処理でも十分に機能を果たすと判断し、水の使用量が少ない乾式処理を選んでおります。また、乾式処理は、エネルギーの無駄がなく発電効率が良いという利点もあります。なお、汚水はボイラーで使用した排水等を処理して再利用しますが、余剰分は適正に処理した上で下水道に放流します。

質問 この種の施設はクリーンセンターという名称が全国的におい多いようですが、「3Rセンター」のような前向きかつ先進的な施設名称としてはどうでしょうか。

回答 名称はまだ決定しておりません。新武蔵野クリーンセンターは仮称です。施設の完成の時期に合わせて、周辺住民の代表にも参加していただいている周辺協議会などで検討します。今回のご意見も踏まえて検討をすすめたいと考えます。

質問 新クリーンセンター用地内の桜、藤棚、椿はどうなりますか。

回答 歩道上の桜は用地内に枝が出ている部分は切りますが、残ります。新クリーンセンター建設用地の中央にある桜は、どうしても残すことができないため残念ですが切る予定です。藤棚は今の半分くらいの大きさにはなってしまいますが、市の公園に移植する予定です。これまでに中木、低木類の市民への配布や公共施設への移植を進めていますが、椿は虫がつくので人気がなく、なかなか受け入れ先がありません。しかし、最後まで移植する努力を行います。

質問 コミュニティスペースに木が少ないと思います。夏は木陰があった方

がコミュニティスペースの利用上もよいと思います。

回答 地下のプラットホームの上には植樹ができませんが、道路際には高木を植える予定としています。

質問 新クリーンセンター用地内のバラ園と風車はどうなりましたか。

回答 バラは7年経つと古木となってしまう、繰り返し移植することが難しいため、3月に市民へ配布しました。今後バラ園を作ることになれば、その時にまた新しいバラをもらう予定としています。風車は解体して保存しています。

質問 新クリーンセンターでゴミ処理は完結するのでしょうか。また、灰は日の出町に持っていくしかないのでしょうか。

回答 新クリーンセンターは中間処理施設であり、ゴミを焼却して灰にするところまでしか、できません。灰は日の出町で多摩の25市1町が共同運営している最終処分場で処理しています。谷戸沢処分場は既にいっぱいとなり、現在は二ツ塚処分場で処理しています。二ツ塚処分場もいっぱいになってしまうと、他に処分場をつくることができないので、処分場の延命化のために平成18年にエコセメント工場を建設し、灰と石灰等で焼成しエコセメント化を作っています。また、びん、かんなどは瑞穂町の民間施設でリサイクルをしています。武蔵野の1市だけではゴミ処理は完結できませんので、ゴミ処理は難しい問題です。

質問 事業の監査は行うのでしょうか。

回答 市が監査を行います。事業の技術面や経理も含めた運営面について、市の職員や第三者機関が監査を行います。さらに、現施設と同様に運営協議会を立ち上げて、住民代表に市から直接説明を行っていきます。

質問 ごみを減らす前提での施設計画としていますが、世間の情勢（ライフスタイルの変化）で、ゴミが増える懸念はありませんか。

回答 平成16年にゴミの有料化、その後のゴミ減量のキャンペーンで武蔵野市のごみ減量が進んでおり、大きくゴミが増えることはないと考えます。また、多摩地域は最終処分場が日の出町にしかなく、全国トップレベルのごみ減量が進んでいます。しかしながら、武蔵野市は多摩地域でもゴミの排出量が多いといったデータがあります。この理由を分析しさらなるゴミの減量を推進するために、今年度ゴミの実態調査を行うことになっています。武蔵野市は小規模事業者が多く、小規模事

業者のごみが家庭ごみと同じ様に収集され、ごみ量に算入されていることや市内約7万世帯のうちの半分が単身世帯であるようなことが、ごみ量が多いというデータに影響していることも考えられます。この調査の結果を踏まえて、実態にあったごみ減量のキャンペーンを行うことを予定しています。

質問 食品包装のトレーなどはショッピングセンターでも回収していますが、市とショッピングセンターに出すのとで市の財政負担は変わりますか。

回答 ショッピングセンターの店頭回収に出してもらえば、市の財政負担は減ります。しかし、店頭回収に出すのが難しい場合もありますので、市でも収集しています。包装・容器は販売側が処理するのが理想と考えています。

容器包装プラスチックの資源化は瑞穂町の業者に委託しており、特に運搬の経費が多くかかっています。

質問 地下を20mくらいまで掘るようですが、工事を行う上で支障はないのですか。

回答 武蔵野市の地層は上から1～2mが表層、その下10m程度が関東ローム層、さらにその下にれき層があります。安定した地盤となっており、れき層に新施設の基礎をつくることで、安定的な建物となります。しかし、地下8mほどのところに水みちがあり、掘削により地下水が出てくるのが予測されます。そのため地下にコンクリートの壁を打って、地下水が出ないような工事を行います。既存施設を稼働させながら新クリーンセンターを建設しますので、手狭で工程の管理もむずかしいのですが、事業者は既存施設に影響がないように綿密な計画を行っています。

質問 煙突を再利用するための耐久性、耐震性はどのように考えていますか。

回答 煙突は今のままでも十分な強度を持っていますが、炭素繊維というものを外筒に巻きつけ、基礎部分も補強することで、耐震性を25%増しの強度とします。

質問 バグフィルターの管理はどのように行うのでしょうか。また、既存施設のようにすべて更新することはありますか。

回答 ろ布の交換は7年ごとに行います。よって、ろ布は20年間で2～3回の交換を行います。また、既存施設はダイオキシン類に対応するため

平成 15 年にバグフィルターを設置しました。今回は建設からバグフィルターを設置し、事業者には、最大 35 年間、維持できるように管理してもらいます。

質問 ガスコージェネレーションシステムは通年で稼働させるのでしょうか。

回答 ガスコージェネレーションシステムは、全炉停止の時に使用します。また、夏場の電気需要が多い時間帯にガスコージェネレーションシステムを使用することで、使用電力量のピークカットをおこない、電気の基本契約料金を低減します。現在、電気代よりもガス代が高いので常にガスコージェネレーションシステムを使用することはありませんが、今後、ガス代が安くなり、電気を購入するよりガスコージェネレーションシステムを使用して電気を発電した方が良い場合も出てくる可能性が考えられます。

質問 屋上農園は、今までクリーンセンターにあったコンポストガーデンの様なものでしょうか。また、コンポストを作るのに全市的な取り組みをおこなうのでしょうか。

回答 市全体で生ごみを収集してコンポストを作ることはありません。屋上農園は今までの延長で考えていますが、運営主体は今後検討していきます。また、事業者は提案において市民との協働で運営していくとしています。

質問 地下工事において、地下の水みちを止めてしまうことで、井の頭公園の湧水がなくなることはありませんか。

回答 新クリーンセンターの工事で、水みちを阻害することはありません。水みちは新クリーンセンターの用地だけでなく、武蔵野市内の全域に流れており、地下がある場合、そこをよける形で水が流れていきます。水の流れが止まってしまうわけではありません。湧水が少なくなったのは、道路が舗装され雨水が下水に流れて、地下に雨水が浸透しなくなっているからだと考えられます。現在武蔵野市では、雨水を地下に浸透させるために道路の舗装を透水性にしたり、浸透施設の整備を推進したりする取り組みを行っています。